

平成23年産春植えばれいしょの作付面積、 収穫量及び出荷量

- 春植えばれいしょ（北海道）の収穫量は前年産に比べて6%増加 -

【調査結果の概要】

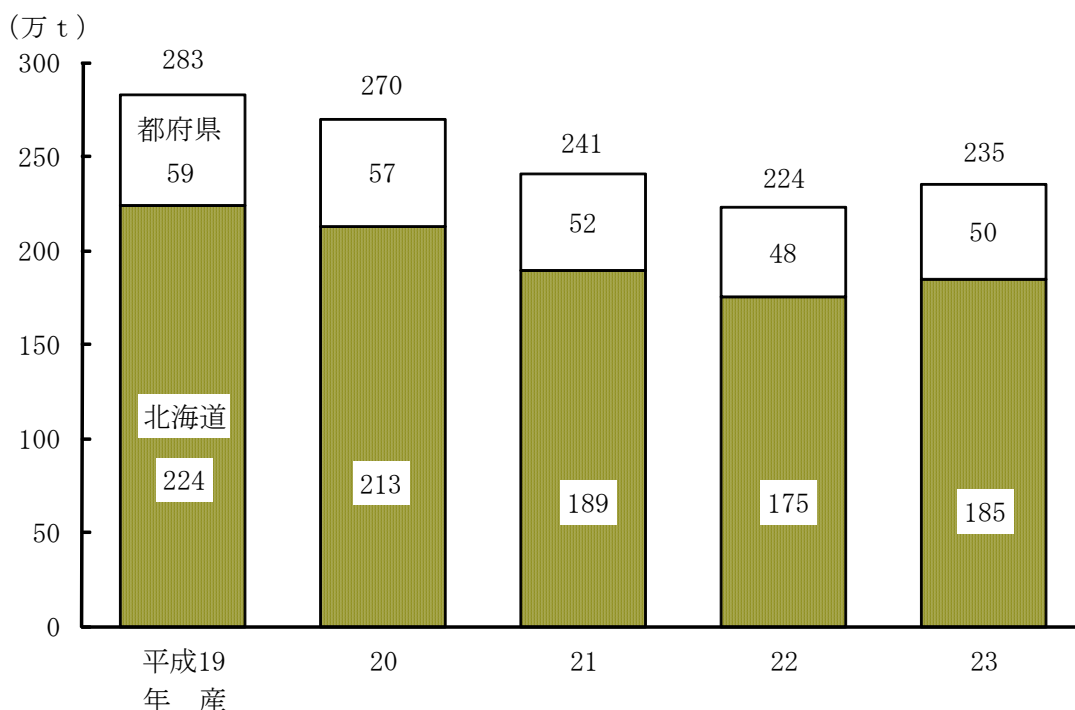
1 春植えばれいしょ（北海道）の収穫量

収穫量は185万tで、前年産に比べて9万7,000t（6%）増加した。

2 春植えばれいしょ（全国）の収穫量

平成23年12月6日に公表した春植えばれいしょ（都府県）の結果を加えた全国の収穫量は234万6,000tで、前年産に比べて10万9,000t（5%）増加した。

図1 春植えばれいしょの収穫量の推移



○ 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口（e-Stat）の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 調査結果の利活用

- ・ 野菜を安定的に供給するための生産数量目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 野菜生産出荷安定法に基づき実施されている特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の生産出荷計画を作成する際の資料
- ・ 農業災害補償法に基づく共済事業の適正な運営のための資料 等

◎ 累年データ

春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移
1 全国

区分	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成19年産	84,500	3,350	2,828,000	2,340,000
20	82,000	3,290	2,697,000	2,218,000
21	80,300	3,000	2,412,000	1,967,000
22	79,600	2,810	2,237,000	1,824,000
23(概数)	77,900	3,010	2,346,000	1,932,000

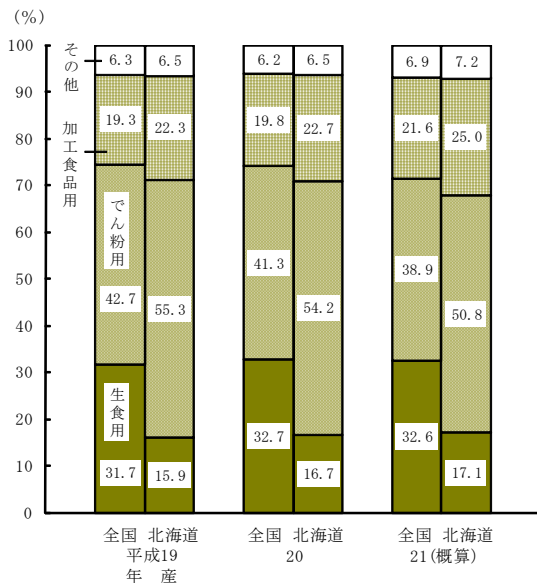
資料：農林水産省統計部『野菜生産出荷統計』（以下の統計表において同じ。）。

2 北海道

区分	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成19年産	56,900	3,940	2,242,000	2,008,000
20	55,200	3,860	2,131,000	1,899,000
21	54,400	3,480	1,893,000	1,673,000
22	54,100	3,240	1,753,000	1,549,000
23(概数)	53,000	3,490	1,850,000	1,641,000

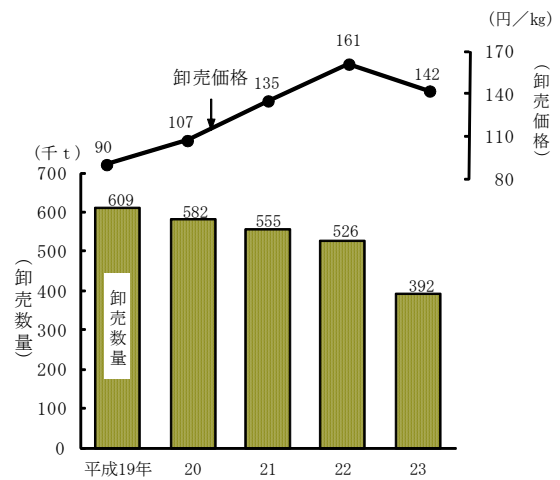
◎ 関連データ

1 ばれいしょの用途別消費割合



資料：農林水産省生産局『いも・でん粉に関する資料』より算出

2 ばれいしょの卸売数量及び卸売価格の推移



資料：農林水産省統計部『青果物流通統計』より算出

注：ばれいしょの卸売数量及び卸売価格については、当該年の4月～翌年の3月の結果であり、平成23年については、平成23年4月～12月の結果である。

【調査結果】

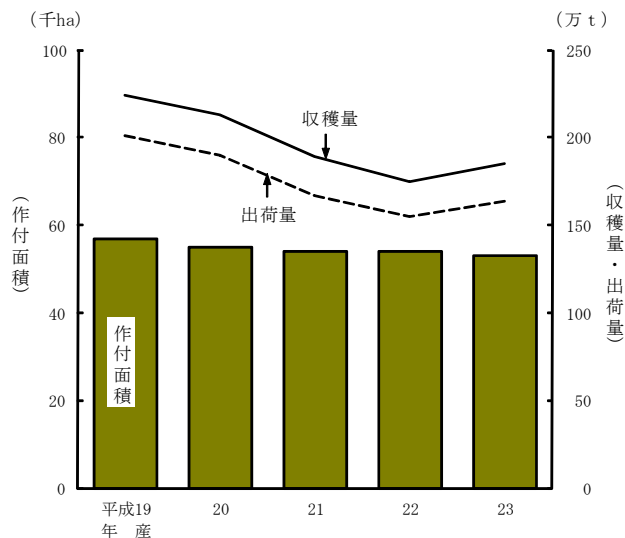
1 春植えばれいしょ（北海道）

収穫量は185万t、出荷量は164万1,000tで、前年産に比べて、それぞれ9万7,000t（6%）、9万2,000t（6%）増加した。

(1) 作付面積は5万3,000haで、前年産に比べて1,100ha（2%）減少した。

(2) 10a当たり収量は3,490kgで、6月から7月にかけて比較的天候に恵まれ、着いも数がやや多くなったこと等から、作柄の悪かった前年産に比べて8%上回った。

図2 春植えばれいしょ（北海道）の作付面積、収穫量及び出荷量の推移



2 春植えばれいしょ（全国）

先に公表した都府県の春植えばれいしょの結果を加えた全国の収穫量は234万6,000t、出荷量は193万2,000tで、前年産に比べてそれぞれ10万9,000t（5%）、10万8,000t（6%）増加した。

(1) 作付面積は7万7,900haで、前年産に比べて1,700ha（2%）減少した。

(2) 10a当たり収量は3,010kgで、前年産に比べて7%上回った。

表 平成23年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春植えばれいしょ	77,900	3,010	2,346,000	1,932,000	98	107	105	106	94
うち北海道	53,000	3,490	1,850,000	1,641,000	98	108	106	106	93

注：「(参考) 対平均収量比」とは、10a当たり平均収量（原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【 統 計 表 】

春植えばれいしょ

全 国 都 道 府 県	作付面積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考)
					作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 平 均 収 量 比
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全 国	77,900	3,010	2,346,000	1,932,000	98	107	105	106	94
北 海 道	53,000	3,490	1,850,000	1,641,000	98	108	106	106	93
都 府 県	25,000	1,980	495,800	291,100	98	104	102	106	97
青 森	1,040	2,130	22,200	16,600	96	110	106	106	93
岩 手	422	1,970	8,310	900	92	104	95	106	97
宮 城	590	1,820	10,700	1,070	93	98	91	96	91
秋 田	667	1,410	9,410	1,360	94	97	91	84	84
山 形	273	1,760	4,810	544	97	89	86	76	85
福 島	1,210	1,790	21,700	2,670	84	101	85	71	93
茨 城	1,470	2,830	41,600	34,200	98	101	99	99	102
栃 木	591	1,800	10,600	3,040	101	104	104	104	96
群 馬	438	2,010	8,800	2,180	100	98	98	100	96
埼 玉	783	1,680	13,200	3,820	100	102	102	115	88
千 葉	1,350	2,380	32,100	26,800	98	106	103	104	105
東 京	271	2,150	5,830	3,200	97	106	103	103	105
神 奈 川	449	2,210	9,920	5,260	101	99	100	97	94
新 潟	723	1,870	13,500	2,870	92	108	99	104	98
富 山	125	1,800	2,250	235	100	110	110	128	95
石 川	296	1,370	4,060	581	100	108	108	123	99
福 井	345	1,140	3,930	439	98	97	96	95	89
山 梨	322	1,220	3,930	669	100	89	89	131	79
長 野	1,170	2,050	24,000	2,100	98	101	100	102	96
岐 阜	281	1,240	3,480	787	101	101	102	105	67
静 岡	649	2,390	15,500	12,600	99	105	103	104	100
愛 知	305	1,190	3,630	2,150	97	98	96	99	82
三 重	182	1,400	2,550	1,600	96	114	109	111	89
滋 賀	166	954	1,580	239	99	97	96	97	90
京 都	221	865	1,910	834	99	82	81	83	75
大 阪	85	1,130	961	450	96	99	94	99	88
兵 庫	358	1,120	4,010	840	97	102	99	103	94
奈 良	172	1,210	2,080	751	98	107	105	104	98
和 歌 山	68	1,070	728	256	94	103	97	102	91
鳥 取	183	1,370	2,510	397	98	105	104	106	100
島 根	177	1,500	2,660	479	99	103	102	103	99
岡 山	243	1,410	3,430	474	95	106	101	110	95
広 島	379	1,420	5,380	1,090	98	107	105	103	104
山 口	176	1,400	2,460	810	98	115	112	115	93
徳 島	131	1,660	2,180	1,090	98	102	100	89	102
香 川	82	1,220	1,000	245	104	106	110	117	99
愛 媛	226	1,280	2,890	676	98	106	103	113	88
高 知	111	1,290	1,430	900	99	107	105	113	93
福 岡	314	1,420	4,460	971	96	97	93	94	95
佐 賀	146	1,770	2,580	1,650	102	101	103	102	96
長 崎	2,950	2,700	79,700	69,800	100	112	111	112	100
熊 本	579	2,040	11,800	8,260	107	105	112	115	100
大 分	132	1,390	1,830	702	95	97	92	92	92
宮 崎	558	2,370	13,200	11,800	113	109	122	123	100
鹿 児 島	3,570	1,990	71,000	62,700	103	103	106	105	99
沖 縄	-	-	-	-	nc	nc	nc	nc	nc

注：1 都府県の数値については、平成23年12月6日に公表したものである。

2 「(参考)対平均収量比」とは、10a当たり平均収量(原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査・野菜調査として実施したものであり、春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における野菜を安定的に供給するための生産数量目標の策定及びその達成に向けた生産対策、需給調整・流通改善対策の推進、農業災害補償法に基づく共済事業の適正な運営のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

該当品目ごとに平成19年産（3年周期の全国調査年）の全国出荷量のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地の面積要件を満たす区域を含む都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県及び特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施する都道府県を調査対象（主産県）としている。

(2) 調査対象の選定

調査の対象は、調査対象県において、調査対象野菜（40品目）の集出荷を行っている農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）としており、その選定については、以下のとおりとした。

ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象となる全ての関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

2010年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で作付けした農林業経営体を無作為に抽出（母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、標本数に応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）した。

(3) 調査対象数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団経営体数 ④	標本数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
春植えばれいしょ	団体 815	団体 685	% 84.0	経営体 94,226	経営体 5,207	% 5.5	経営体 2,899	% 55.7
うち北海道	193	161	83.4	10,794	76	0.7	39	51.3

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において作付けがなかった経営体等を除いた数である。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

作付面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

作付面積、収穫量及び出荷量

4 調査期日等

(1) 調査期日

収穫・出荷終了時

(2) 季節区分

この調査における品目の主たる収穫・出荷期間は次のとおりである。

品目 (季節区分)	主な収穫・出荷期間
春植えばれいしょ (都府県)	平成 23 年 4 月 ~ 23 年 8 月
春植えばれいしょ (北海道)	平成 23 年 9 月 ~ 23 年 10 月

5 調査方法

作付面積の把握は、関係団体に対する往復郵送調査及び職員による巡回・見積りの方法、収穫量及び出荷量の把握は、関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集の方法による。

6 集計方法

作付面積は、関係団体調査結果及び巡回・見積りにより得られた結果を集計している。

収穫量は、往復郵送調査結果により算出した10a当たり収量を、必要に応じて巡回・情報収集結果により補完し、作付面積を乗じて算出している。

なお、往復郵送調査結果により算出した10a当たり収量については、調査対象品目について、関係団体が取り扱う数量の割合がおおむね8割以上の場合には団体調査結果を、おおむね8割未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

7 目標精度

本調査において、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

(1) 作付面積とは、は種又は植付けし、発芽又は定着した面積をいう。

(2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たすものの重量をいい、出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等を差し引いた重量をいう。

なお、野菜需給均衡総合推進対策事業による産地廃棄や都道府県等が独自に実施した需給調整事業により産地廃棄された量は、収穫量に含めるが出荷量には含めていない。

(3) 統計表の「(参考) 対平均収量比」は、直近7か年までの10a当たり収量のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値と当年産の10a当たり収量との対比を行っているが、直近7か年のうち、3か年又は4か年分のデータしかない場合は、その平均値と当年産を対比している。

9 統計表の見方

(1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しないことがある。

原数	7桁以上 (100万以上)	6桁 (10万)	5桁 (万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)	
四捨五入する桁 (下から)	3桁	2桁		1桁	四捨五入しない	
例	四捨五入する前 (原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

(2) この統計表で使用した符号は、次のとおりである。

「 - 」: 事実のないもの

「 nc 」: 計算不能

10 その他

この資料の数値は概数値である。確定した詳細な数値はホームページに掲載（平成24年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成23年産野菜生産出荷統計』に掲載する。

なお、ホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「野菜」に分類しています。

【関連リンク】

野菜関係ページ: 農林水産省 > 組織・政策 > 生産局 > 園芸作物（野菜・果樹・花き） > 野菜のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 園芸統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3680

(直通) 03-6744-2044

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037